第2回京丹後市行財政改革推進委員会 会議録

1 開催日時 令和5年12月27日(水)午前9時30分～午前11時10分

2 開催場所 京丹後市役所(2階)205会議室

3 出席者氏名

(1) 京丹後市行財政改革推進委員会委員(9人)

副会長 藤井美枝子、委員 岩井慶子、委員 蒲田克行、委員 小林朝子、
委員 柴田隆行、委員 谷津留美子、委員 松本由美子、委員 安井美佐子、
委員 山下きく江

(2) 事務局

総務部長 中西俊彦、総務部財政課長 松田吉正、同課長補佐 蛭子ひとみ、
同課係長 片西優、同課主事 山根麻文

4 議題

(1) 開会

(2) あいさつ

(3) 議事

① 行財政改革推進計画の進捗状況について

② 第4次行財政改革の取組の中間まとめについて

5 公開又は非公開の別 公開

6 傍聴人の人数 0人

7 要旨

《議事経緯》

● 開会

事務局

ただ今から第2回京丹後市行財政改革推進委員会を開催します。

皆様におかれましては、年末の非常に御多忙の中、出席を賜りまして誠にありがとうございます。

本日は、谷口会長、奥田委員、吉岡委員については欠席ということで伺っております。

それでは、開会にあたりまして、藤井副会長より御挨拶をお願い致します。

● あいさつ(副会長)

副会長

本日は早朝よりお忙しい中、ご出席をいただきましてありがとうございます。
谷口会長が欠席ということで、代理で会議の進行を務めさせていただきます。
どうぞよろしくお願い致します。

事務局

それでは、以降については副会長に進行をお任せしたいと思います。

なお、本日の会議録について、御確認いただく署名人の方を副会長から指名
いただきたいと思いますので、よろしくお願い致します。

● 会議録署名委員の指名

副 会 長 本日の会議録の署名人を指名させていただきます。本日は蒲田委員にお願いします。どうぞよろしくお願い致します。

● 議事

副 会 長 それでは、次第に基づきまして進めさせていただきます。まず、「行財政改革推進計画の進捗状況」について、事務局から説明をお願い致します。

事 務 局 (事務局から資料1、資料2、資料3、資料4に基づき、「行財政改革推進計画の進捗状況」について説明)

副 会 長 事務局より説明がありました。何か御意見や御質問などございませんでしょうか。

私の方から、1つ質問させていただいてよろしいでしょうか。資料2の第3次京丹後市行財政改革推進計画(令和2年度進捗状況報告)の取組項目数は183項目ありますが、資料3の第4次京丹後市行財政改革推進計画(令和3年度進捗状況報告)では52項目となっており、この取組項目数の差について説明をお願いします。

事 務 局 第1次から第3次京丹後市行財政改革大綱までは、独立した大綱として策定しており、「市民とともに進める協働のまちづくり」、「市民から見た行政満足度の向上」など、市民目線の取組も幅広く行っておりました。ですが、第4次京丹後市行財政改革大綱からは、総合計画「基本計画」の中に位置付けたことから、総合計画の中には、市民協働、産業や教育など、あらゆる分野がありますので、今まで行財政改革大綱の中で取り組んできたことが、総合計画の他の分野で、既に取り組んでいることから、取組項目数についても、183項目から52項目に整理をさせていただいております。

副 会 長 他に何か御意見や御質問はありませんでしょうか。

委 員 資料4の中に、マイナンバーカードの普及率がありますが、マイナンバーカードがもっと普及すると、事務的なことで随分効率が上がってくると思いますが、現状は、進んでいる状況でしょうか。

事 務 局 令和5年12月10日現在でいきますと、申請率については87.8%で、申請者数は4万5600人程で、少しずつ増えている状況です。今まで窓口で申請書等を手書きしていたものが、マイナンバーカードを利用することで、本人確認もでき、申請書を自動作成してくれるシステムもありますが、現状、市への浸透はそこまでしていないという状況があります。将来は、国全体でマイナンバーカードを利用して、事務の効率化を目指していますが、国の方針待ちである部分もありますので、進捗としては、少しずつ進んでいるといった状況です。

副 会 長 他にありませんでしょうか。

委 員 資料3のふるさと納税について、返礼品の充実や特産品などのプロモーションの検討とありますが、京丹後市に納税された方から返礼品についての不満を聞くことがあり、市側におかれてもそのような話を聞かれたことはありません

か。また検証もされているのでしょうか。

事務局

ふるさと納税に関する返礼品に対する意見ということでございますが、担当部署が違いますので、正確なことを全てお伝えするのは難しいのですが、ふるさと納税10倍プロジェクトの推進として、ふるさと納税寄附金額30億を目指して頑張っており、返礼品については、カニやフルーツ等、あらゆるものを準備しています。

ただ、時期によっては単価が変動するものもありますので、3匹来ると思っていたものが、2匹しか来なかったなど、数の問題等で京丹後市へ納税された方から御意見をいただくこともあります。他の自治体との競争の中で、京丹後市を選んでいただく必要があるので、委員からの御意見をしっかりと担当部署に伝えさせていただきたいと思えます。

委員

丹後のコシヒカリを目当てにしていたのに、届いたお米が古米で全然美味しくなかった、京丹後市へのふるさと納税をやめたというお話も聞きました。私自身も京丹後市の特産品をもっと紹介したいなという思いもありましたが、そういうことがあると、紹介ができません。ふるさと納税は、全国に京丹後市の特産品が散らばるわけですから、信頼性のある業者を選定されるなど、このようなことがないようにお願いしたいなと思いました。

事務局

貴重な御意見ありがとうございます。信頼関係は非常に大事なことでございます。委員の御意見を関係部署へ報告させていただきたいと思えます。

副会長

他にありませんでしょうか。

委員

先程のマイナンバーカードのことですが、ケーブルテレビでも申請の仕方など流しているのでしょうか。

事務局

9月末までは、ケーブルテレビでも広報をしていたのですが、現在はそこまでの広報をしていないため、マイナンバーカードを申請されていない方には引き続き申請をしていただきたいので、コマース的に流せるようなことも検討するように担当部署へ伝えさせていただこうと思えます。

委員

資料4の中に、ワークライフバランスの推進とありますが、私もこの言葉を聞いてから10数年になろうかと思えます。その頃は、こんなバランスのとれた生活ができたなら、快適な生活が送れるのだらうと思っていたのですが、それから今日まで一向に進んでないような感じを受けます。

そのような中で、市の職員も大変な仕事をしていただきながら、ノー残業デーということで水曜日だけは、早く帰るといのがありますが、その日の仕事を残して帰って、その仕事を木曜日金曜日にするというのは、現実的には難しいと聞いています。

また、旧町の各単位で一斉には無理だと思いますが、サロン等を開いているところもありますので、職員の方にも出向いてもらい、市民がどのような思いをしているのかを聞いていただきたいなと思えますし、市の職員がどのような働き方をされているのか、もう少し知りたいなという思いがありますので、お願

いします。

事務局 先程委員がおっしゃいましたように、週1回ぐらいは定時に帰れるように、ノー残業デーの放送もしていますが、結局は今日中にしなければいけないことですので、それを明日に持ち越せることがあれば、今日は帰って明日またするというのも実際はありますので、それぞれの職員によって仕事の仕方は変わっており、一律的ではないと思っております。

また、職員数がそこまで増えていない中で、事務量が相当増えており、やらなければいけない幅が広がっている状況はありますが、ワークライフバランスの取組をやめることはできないので、今後どのように行っていくのが重要となります。

それから、地域に出向いて、市民の声を聞くことも非常に大切なことです。市役所の職員は市民のために、地域のために仕事をしていますので、市民の意見も聞かせていただきながら、様々な制度や政策に反映しないといけない役割もありますので、気軽にお声掛けいただき、相談していただければと思いますし、委員の意見につきましても、関係部署にも伝えさせていただきたいと思っております。

委員 1番疑問に思うのは、部署が変わることです。ある程度、専門的にその部署にいていただければと思いますが、何故2、3年で、全く別の部署へ変わる必要があるのでしょうか。

事務局 人事異動によって、職員が1つの分野だけではなく、様々な場所でより力を発揮するということもできますし、多くの部署を回らないと自分の適性も分からないということもあります。

副会長 コロナ関係で仕事量が増え、時間外が増えているということを私も聞きました。職員の皆さんには、効率よく仕事をさせていただきますようお願い致します。

続きまして、議事の2つ目の「第4次行財政改革の取組の中間まとめについて」事務局から説明をお願いします。

事務局 それでは、「第4次行財政改革の取組の中間まとめ」につきまして、事務局から説明させていただきます。

事務局 (事務局から資料2、資料4、資料5、資料6、資料7に基づき、「第4次行財政改革の取組の中間まとめ」について説明)

副会長 事務局から説明がありました。皆さん御意見、御質問ありましたらお願いします。

委員 資料7の中で、ふるさと創生職員や地域おこし協力隊について記載がありますが、内容について教えていただきたいです。

委員 デジタルポイントについても、作成することとなった経過についても教えていただきたいです。

事務局 2つ目のデジタルポイントについてですが、作成のきっかけにつきましては、京丹後市が合併して、商店街が各町域にあり、それぞれの商店街も非常に厳し

い状況がある中で、地域内循環を進めるために、共通したポイントカードを作
って、市役所や京丹後市の商店の方々が、一緒になって取り組むことで、市民
の方に商店街に足を運んでいただくことを目的に取組を進めたということがき
っかけです。

京丹後市内のどのお店でも使えるようになることを目標には掲げてますが、
町域で小売店が少ない地域もありますので、その地域にお住まいの方が近くのお
店で使いにくいという御意見もいただいておりますので、使っている方と使
っていない方が両極端となっている状況です。

デジタルポイントについては、まず各世帯にカードを配布させていただいて、
1人1000円分のポイントを入れることで、まずは使っていただくというこ
とを目的に取組を行っておりますが、浸透しきれてないということもあり、非
常に苦労しながら進めているのが現状です。

委 員 京丹後市の全域で使用できるようにしても、自分の住んでいる地域以外での買い
物はやはり少ないと思います。財政難の中で何のためにこの取組をしたのか気
になっていました。

副 会 長 大切な御意見ありがとうございます。市の方で検証いただくことも必要かと
思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。

事 務 局 現状は、非常に厳しい御意見もいただきながら、やっている事業でもありま
す。少し様子を見させていただきながら、創意工夫してやっていきたいと思っ
ております。

事 務 局 先ほど質問にありました、ふるさと創生職員と地域おこし協力隊についてで
すが、ふるさと創生職員は令和2年から市の独自施策として導入してありまし
て、コロナ禍でテレワークが全国的に推進される中で、地元に戻ってこよう
と思う人を職員として迎えられないか、移住定住にも繋がるのではないかと
いうことで、UIターンの活性化に繋がるということでも、ふるさと創生職員と
いう制度を立ち上げています。令和2年から令和4年までに採用した方は14名
となっております、任期は3年間です。

次に、地域おこし協力隊についてですが、国の制度として、全国的にもこの
制度を活用して、様々な地域で地域おこしをやっていこうというもので、現在
14名の方がいらっしゃいます。各町域においてはサウナや空き家の再生と活
用など、様々な視点で地域おこしをされています。

委 員 ふるさと創生職員や地域おこし協力隊の方とお話することが多くあるため、少
し補足をさせていただきますと、ふるさと創生職員の方は市の職員として市役所に
勤められてという方が多く、週3、4の勤務であり、市役所の職員の給料形態に合
わせて給料をいただいているような感じです。副業をしながら、市の仕事ができる
ので、興味を持って来られる方も多のですが、自由度がないことや雇用期間の3年間
が終わったあとの将来性が感じられないという理由で、雇用期間終了後、京丹後市
から流出される方も多くいらっしゃるため、とてももったいないことだと思ってい
ます。

地域おこし協力隊の方は、卒業されても地域の中で就職をされたり、自分で起業される方も多く、他の地域からも人を呼んで、京丹後市の魅力を伝えていくことをされてる方が多い印象です。

最後に、ふるさと納税についてです。今までの行財政改革推進委員会の際にもお伝えしたかと思いますが、ふるさと納税に力を入れて、10億円という自主財源を確保しているということですが、京丹後市民も他の地域に納税して、減額になっている部分があるのではないかと考えています。自主財源の確保ということで、ふるさと納税に力を入れて、急にパタッとなくなった時に、いつもどうなるのかということを感じているところです。

副会長 ありがとうございます。先程の委員の意見について、ふるさと創生職員と地域おこし協力隊の皆さんについて、雇用期間3年間での退職はもったいないと思います。ぜひ維持していただきたいと考えております。よろしくお願い致します。

皆さん、よろしいでしょうか。

それでは皆さんお疲れ様でございました。以上で議事を終了させていただきます。事務局から連絡がありましたらお願いします。

● 事務連絡

事務局 皆さんありがとうございます。

本日、様々な御意見をいただきました。改めましていただきました内容につきましては、所管部局にも伝えたいと考えております。

また、内容については、本日の御意見等も整理させていただきたいと考えております。最後になりますが、資料1から資料7までご確認いただきました内容で、第4次行財政改革の取組の中間まとめをさせていただきたいと考えておまして、以降ホームページでも公開をさせていただきたいと考えております。本日の委員会では、今回の議事について、この内容で問題ないか確認をさせていただきたいと思っております。よろしいでしょうか。

委員 はい。

事務局 それでは皆さんに承認していただきましたので、この内容で進めさせていただきます。よろしくお願い致します。

次回以降、現時点では委員会の日程について予定はしておりませんが、令和6年度につきましては次期大綱の策定に向けて委員会を開催させていただく予定としております。事務局からは以上です。

それでは閉会の挨拶についても、副会長にお世話になりたいと思っております。よろしく申し上げます。

● 閉会のあいさつ（副会長）

副会長 皆様お疲れ様でした。本日は長時間にわたり、慎重に御審議を賜り、また活発な御意見を賜りましてありがとうございます。

行財政改革推進計画の進捗状況について、そして第4次行財政改革の取組の中間まとめとして、御審議いただきましてありがとうございました。

さて、いよいよ本年も残すところ4日となりました。皆様にとって、どうぞ良い

お年をお迎えいただきますようご祈念申し上げまして、閉会のご挨拶とさせていただきます。本日は皆さん、ありがとうございました。